

浦添市戦没者追悼イベント

「前田高地」ミニガイド

浦添城跡での沖縄戦没者追悼式にあわせ、「前田高地」のボランティアガイドを行います。



■日時
10月6日(日) ①10時 ②11時
10月9日(水) ①正午
10月15日(火) ①正午
【予約不要】30分程度
■集合場所
浦添城跡の展望台

☎ うらおそい歴史ガイド ☎ (874) 9345

浦添市の戦(いくさ)跡

浦添市戦没者追悼式にあわせ、市内における戦跡等に関連する所蔵資料を展示・貸出します。



■期間
10月1日(火)～
20(日)
■場所
浦添市立図書館 1階
エントランス

☎ 浦添市立図書館 ☎ (876) 4946

歴史観光コンテンツの映像上映

映画「ハクソーリッジ」の舞台となった前田高地の戦いについて映像を制作し、上映しています。



■上映日
毎日午前9時～
午後5時(月曜日定休)
■場所
浦添グスク・
ようどれ館内

☎ 観光振興課 ☎ 内線 3166

第73回 浦添市戦没者追悼式

先の大戦で、浦添市域内で亡くなられた御霊のご冥福と世界の恒久平和を祈念するため、戦没者追悼式を下記のとおり行います。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

期 日 **10月15日(火)**
時 間 **午前10時30分～正午**
場 所 **浦和の塔前(浦添城跡内)**

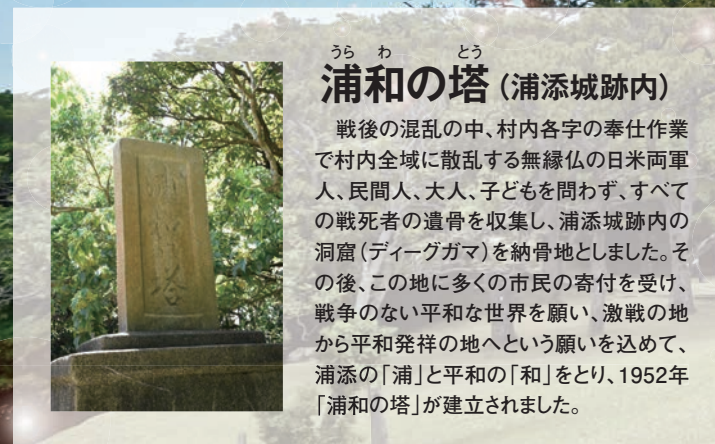
☎ 福祉総務課 ☎ (876) 1266



中学生平和交流団が戦没者追悼式で
平和のメッセージを朗読します

令和元年度浦添市中学生平和交流事業のすべての研修日程を修了した平和交流団が、浦添市戦没者追悼式で恒久平和を誓い、自らが作成した平和のメッセージを朗読します。

☎ 国際交流課 ☎ (876) 1258



※写真は今年の追悼式から

浦和の塔(浦添城跡内)

戦後の混乱の中、村内各字の奉仕作業で村内全域に散乱する無縁仏の日米両軍人、民間人、大人、子どもを問わず、すべての戦死者の遺骨を収集し、浦添城跡内の洞窟(ディーグガマ)を納骨地としました。その後、この地に多くの市民の寄付を受け、戦争のない平和な世界を願い、激戦の地から平和発祥の地へという願いを込めて、浦添の「浦」と平和の「和」をとり、1952年「浦和の塔」が建立されました。



世代を超えて 平和を考える日に

1945年6月23日、20万人余が犠牲となった太平洋戦争・沖縄戦が終結しました。戦没者追悼式が行われる浦添城跡では、通称前田高地として知られるこの場所でも激しい攻防戦が展開され、当時の浦添村の全住民45%にあたる4千112人が犠牲となり、多くの尊い命が失われました。戦後74年を経てもなお、遺族の悲しみは続いています。

私たちは、戦争の記憶を次世代に正しく伝え、つないでいくためにあらゆる節目において「平和」とは何かを考えてきました。6月23日「慰霊の日」、8月15日「終戦記念日」、そして毎年10月に行われている「浦添市戦没者追悼式」です。

追悼式では浦添市遺族会をはじめ、世代を超えて平和を考える日とするために中学生平和交流団も参列し、御霊が安らかに、そして二度と戦争のない世界にとの平和の願いを込めて祈りを捧げます。

遺族や関係者の高齢化が進む中、追悼式を通して「沖縄戦・浦添での激戦」に思いを馳せ「平和」とは何かを考える1日にしませんか。



兵士を乗せた水陸両用車と並んで歩く幼い弟を背負った少女(沖縄県公文書館所蔵)

戦争の恐ろしさを 風化させてはならない

浦添市遺族会会長 宮城 實 さん



浦添市遺族会のみなさん(右が宮城實さん)

■私が仲西小学校の低学年の頃、クラス全員で慰霊祭に参列して、焼香の後に美味しい饅頭を貰ったことを覚えています。戦後、浦添の山野に県民や日米の兵隊の骨がいっぱい転がっていて、これが浦添グスクのディーグガマに全部積まれていました。この無縁仏を弔うために建てられたのが浦和の塔と言われています。

私自身は、あの大戦で家全員で糸満の摩文仁まで避難しましたが、米軍の襲撃にあり、目の前で父、姉、弟を失いました。今だに家族3人の収骨もできておらず、おそらくは無縁仏として、糸満の国立沖縄戦没者墓苑に眠っていると思います。

戦後74年が経過し、戦争を知らない世代が8割以上を占めている現状で、あの沖縄戦が風化していくことを懸念しています。戦没した浦添市民の刻銘版の建立や体験談の記録など、平和の尊さについて私たちがどのように継承していけるか、追悼式などを通じて一人一人が考える機会となればよいと思います。